

せと 市議会だより

令和5年3月定例会

103号

令和5年5月号



特集 P.2-3 新年度事業を議会がチェックしました。

SETO-NISHI High School Art Club



作画／瀬戸西高等学校美術部のみなさん

表紙の絵について

生徒たちが大好きな夕暮れの風景、体育祭のパフォーマンス、部活動の様子を描きました。部活動を終えて帰宅するとき、思わずパシャリと撮ってしまう、我が校自慢の夕暮れの景色。丘の上の高校ならではのこの風景を季節ごとに楽しんでいます。生徒たちのスマホの中には高校生活の思い出とともに、たくさんの夕景が収められているはずです。

文責：美術部顧問 松平

P.10に瀬戸西高等学校の紹介があります

新年度事業を議会がチェックしました

ごみ

プラスチック製容器包装の回収について

事業内容 令和4年10月から開始したプラスチック製容器包装の分別収集により、ごみ減量を推進します。

議会の視点 市民の協力に対し、どう応えるのか。

Q プラスチック製容器包装の回収回数や集積場所の増設など今後、予算を補正するなどの対応もあるのか伺う。

A 対応によって予算の補正が必要な場合や、周知に時間のかかる場合もあると思うので、その見極めを早く行いたいと考えている。



リサイクルセンター ▶ 分別の様子

消防

令和7年度から共同運用が始まります

事業内容 名古屋市等と消防指令業務を共同運用することにより、構成市の消防力や災害発生状況を一元管理し、効率的かつ効果的な隊の運用や消防相互応援体制の強化を図ります。

議会の視点 119番通報の対応力はどのようになるのか。

Q 消防指令業務が共同運用となると、使用回線数はどのようになるのか伺う。

A 瀬戸、尾張旭消防指令センターでは最大12回線で119番通報を同時に受けることができるが、名古屋市等との共同指令センターでは指令台が27台設置され、119番回線としては32回線接続される予定である。

現在の消防指令センターの様子 ▶



デジタル

DXを推進する費用について

事業内容 もっと身近に、もっと便利に総合案内サービス「せとまちナビ」の利用促進を図ります。

議会の視点 「せとまちナビ」の利便性が高まるのか。

Q 「せとまちナビ」をより市民の皆さんに使っていただくため、汎用性の高いLINEを窓口にして、各種手続きや市の情報を取りやすくすれば、更にDX推進が図られると考えるが見解を伺う。

A コスト的にも広がり的にもできることの多さにもLINEが優れており、市町村用に特化した〈LINEカナメト〉というコンテンツを次年度利用しようと考えている。

参考画像LINE KANAMETO ▶



学校

中学校での生理用品設置が進められます

事業内容 中学生がより安心して学校生活を送れるよう女子トイレに生理用品を設置します。

議会の視点 試験結果をどのように受け止めたのか。

Q 令和4年9月から試験的に実施した生理用品の設置の結果、令和5年度はどのようにしていく予定か伺う。

A 試験的に設置した学校でアンケートを実施した結果、「トイレに生理用品が置いてあることで、安心して学校での時間を過ごせた」が73%と一定の効果があったと考える。令和5年度においては全中学校に設置するよう調整しており、小学校は発達段階に配慮し中学校の状況を確認しつつ進めていく。



合計当初予算額
748億8,850万円

一般会計予算	412億1,000万円	(増減率+2.61%)
特別会計予算	251億1,500万円	(増減率-0.02%)
企業会計(水道・下水道)予算	85億6,350万円	(増減率-0.1%)

福祉

2カ所目の相談支援センターについて

事業内容 地域に根差した障害者の相談支援体制の構築を図ります。

議会の視点 新設された「障がい者相談支援センター」での障害者等と関係機関を繋ぐ役割とはどのようなものか。

Q やすらぎ会館1階に「障がい者相談支援センター」を設置し、5年度、本格化されたが、どのように充実させていくか。

A 令和4年5月9日に設置し、身近に安心して相談できる窓口を整えている。また市役所内の瀬戸市障がい者相談支援センターの相談員を1名増員した。相談内容に応じて適切な支援をはかれるよう連携に努めていく。



やすらぎ会館東側▲
相談支援センター入口

道の駅

「道の駅 瀬戸しなの」について

事業内容 「道の駅 瀬戸しなの」は、地域振興施設については㈱ジェック経営コンサルタントが、その他は道の駅 瀬戸しなの㈱が指定管理者として管理運営を行っています。

議会の視点 道の駅は指定管理の委託範囲を、収益性と公益性を鑑みて、2つに分けている。効果的・効率的な運営となっているか。

Q 地域振興施設については、指定管理者から還元があると思うが、指定管理のあり方として、令和2年度、令和3年度の実績はどうか。

A 実績としては、令和元年度から黒字に転換し、令和2年度、令和3年度も黒字となっている。加えて、令和3年度は地域振興施設の指定管理者から、納付金400万円が納付されており、令和4年度も納付される予定で、健全な経営・管理状況であると認識している。



道の駅 瀬戸しなの▶

高齢者

高齢者の移動実証実験を行います

事業内容 高齢者が過度に自家用車に依存しなくても生活できる環境の整備や外出機会の創出を目的とした移動手手段の実証を行います。

議会の視点 市単独事業として実証実験をどう続けていくか。

Q 令和4年度で県からの委託事業が終了し、その後は市独自で継続していくとのことだがどのように進めていくか。

A 令和3・4年度で実証し、5年度から本稼働を目指していたが、コロナの影響で実証実験が実質1年間しかできていないため令和5年度も引き続き道泉・東明の2地区で実証実験を続けていく。新しいモデル地区を広げていくことについても検討会議で検討していく。



移動手手段の確保により開催されたストレッチ講座の様子▲

バス

HALF DEMAND 運行の実証実験に取り組みます

事業内容 市内基幹バス・コミュニティバス・菱野団地住民バスなどの公共交通の維持・活性化を図るため、公共交通の利用促進策等を実施します。

議会の視点 コミュニティバス品野3線における HALF DEMAND 運行の社会実験に注目する。

Q 令和5年度は品野3線で DEMAND 運行が試行される。品野3線を選んだ理由と、試行にあたり住民との話し合いはどうか。

A これまで品野3線運行協議会とは協議を重ねて随時改正を行ってきたが、新規バス停設置や増便などさらなるサービス向上の要望を多くいただいていることから、これまでの運行方式にとらわれず、限られた財源のなかで持続可能な運行方法として、DEMAND 運行の導入を提案している。



市内を走る
コミュニティバス▶





瀬戸市長
伊藤 保徳

私が瀬戸市長に就任し、まず初めに取り組んだのが、「第6次瀬戸市総合計画」の策定であり、持続可能なまちの姿として「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」という将来像を描きました。本年はその計画の7年目にあたり、その成果が求められる時期に入ったと認識しております。本市では、人口減少、少子高齢化が進む中でも、人口の社会増の状況が続いております。またジブリパークの開園により、愛・地球博で培ったおもてなしの精神を持って

本市への来訪者を迎えることが大切であると考えております。こうした中で私は今限りで市長を退く決意をいたしましたので、新年度予算につきましては、骨格予算として編成し、政策的な判断を必要とする新たな施策事業については、原則として当初予算への計上を避けさせていただきました。しかしながら、行政の停滞は許されないととの観点に立ち、継続的な事業や市民生活に直結する事業などは当初予算に計上させていただいております。

代表質問

3月定例会では、3人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。



山田 治義
新自民
クラブ



骨格予算について

Q 令和5年度予算を骨格予算として編成され、中期事業計画で示した幾つかの施策事業を新しい市長に委ねるとされたが、市長自ら策定した思いのこもった第6次総合計画であり、計画の推進を図るうえにおいて、市長自ら計上するべきではなかったのか。

A 令和5年度当初予算に計上せず、後の補正予算で対応を検討することとした政策的判断を要する新規事業については、実施の可否を含めその内容や進め方について、今一度、新市長の判断に委ねるべきであると考え、骨格予算とした。

人事管理について

Q 今後10年間で職員の定年が5年延長となり、これまでの再任用制度からの変更で人件費の増加が懸念される。行政コストへの影響を勘案しながらの行政運営が必要であるが、今後の人事管理と人件費の動向についてどのように考えているのか。

A 人事管理については、定年引上げ後においても、行政サービスを安定的に提供できる体制を確保し、適正な定員管理を行っていく。職員の新規採用は、将来の職員構成も勘案しながら、年齢別職員数に偏りが生じないように、年度毎に継続的に行っていく。また、人件費の動向は大きな影響はないと考えている。

第6次瀬戸市総合計画のこれまでの評価について



長江 秀幸
公明党
瀬戸市議団



Q 総合計画策定から6年が経過し7年目を迎える。市長は、「その成果が求められる時期に入ったと認識している」と述べられているが、この6年間の評価と今後どのように成果をあげていくのか伺う。

A 平成29年度以降人口の社会増の状況が安定して続いていること、市民アンケート調査において住みやすさをはじめとする各指標が高い水準で維持・向上していることから、概ね計画どおりに進捗していると分析している。引き続き、将来像の実現及び都市像の達成に向けて、政策の方向性や目標を踏まえ効果的な推進に取り組んでいく。

企業誘致について

Q 近年の企業誘致の成果として、都市計画マスタープランに位置付けられた産業系の土地利用誘導ゾーンのうち、八床町と幡中町において3社、尾張瀬戸駅前のホテル誘致と成果をあげてきたが、その後の誘致活動と成果はどのようか伺う。

A 企業誘致については、令和2年度及び令和3年度に立地促進奨励金の指定申請を受け付けた事業者が15社、再投資促進補助金を活用した事業者が1社あり、これらの企業が速やかに操業できるよう許認可手続き等のサポートを行っている。



浅井 寿美
瀬戸市議団
日本共産党



異常な物価高騰のなか、ごみ袋値上げ中止の決断を

Q 昨年10月開始のプラスチック製容器包装の回収量は月を追うごとに増え、同時に燃えるごみの量が前年度より大幅に減っている。市はごみ袋値上げの理由は「ごみ減量のため」としてきた。市民の協力でごみが減少している今、なぜごみ袋値上げで市民負担を増やすのか、また市民が物価高騰にあえぐ中だからこそ、ごみ袋値上げは中止すべきではないか。

A プラスチック製容器包装等の分別でごみの量は減少に転じたが定着していない。ごみ処理費用有料化と併せた取組みで、市民の皆様のごみ減量への意識向上と更に高い減量効果が期待できる。

物価高騰のなか、障害の種類を問わない障害者手当の復活を

Q 共産党市議団へのアンケート回答(約1,300件)では約3割の方々障害者手当の復活が必要と回答された。意見として「障害者の障害は一生続く。役割が終わったという理由が聞きたい。」「とても助かる大切な手当だった。復活してもらいたい。」など多くの声が寄せられた。コロナ禍と物価高騰で障害者の暮らしは困難さを増している。障害の種類を問わない障害者手当を復活すべきと考えるが見解を伺う。

A 廃止をした瀬戸市障害者手当の代替施策として、令和3年度から「真に効果のある障害者施策」に取り組んでおり、引き続き推進していく。

3月定例会の主な議案概要

東保育園の保育事業を引き続き民間事業者が実施

概要 令和5年4月1日から令和8年3月31日まで東保育園の保育事業を株式会社トットメイトが実施します。



瀬戸市せとまち人材応援助成金の支援が拡大

概要 U・I・Jターン就職を促進し、地域の中小企業等を担うリーダーの人材を確保するため、市内企業に就職し、かつ、市内に居住する若者への支援が可能となります。

- Uターン:** 地方から都市へ移住した人が故郷へ戻って働くこと
- Iターン:** 都市から故郷ではない地方に移住して働くこと
- Jターン:** 地方から都市へ移住した人が故郷の近隣の地方都市に移住して働くこと

令和5年度に予定していた舗装整備工事を令和4年度に前倒しして予算化

- 予定路線**
- 新開地赤重線/260m(瀬戸警察署入口より南の市道) 令和5年夏頃完成予定
 - 山路海上線/360m(瀬戸クリーンセンター入口付近の市道) 順次実施予定



3 月 定 例 会 議 案 一 覧

■ 市長提出議案

議案番号	件 名	採決結果
第 1 号議案	瀬戸市附属機関設置条例の一部改正について	可決(全会一致)
第 2 号議案	瀬戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第 3 号議案	瀬戸市子ども・子育て会議条例の一部改正について	可決(全会一致)
第 4 号議案	瀬戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第 5 号議案	市有財産(土地及び建物)の無償貸付について	可決(全会一致)
第 6 号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第 7 号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第 8 号議案	瀬戸市いきいき瀬戸21計画策定委員会条例の制定について	可決(全会一致)
第 9 号議案	瀬戸市せとまち人材応援助成金基金条例の一部改正について	可決(全会一致)
第10号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第11号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第12号議案	市道路線の変更について	可決(全会一致)
第13号議案	瀬戸市下水道条例の一部改正について	可決(全会一致)
第14号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第12号)	可決(全会一致)
第15号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第13号)	可決(全会一致)
第16号議案	令和4年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第17号議案	令和4年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第18号議案	令和4年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第19号議案	令和4年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第20号議案	令和4年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第21号議案	令和5年度瀬戸市一般会計予算	可決(賛成多数)
第22号議案	令和5年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第23号議案	令和5年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算	可決(全会一致)
第24号議案	令和5年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第25号議案	令和5年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決(賛成多数)
第26号議案	令和5年度瀬戸市水道事業会計予算	可決(全会一致)
第27号議案	令和5年度瀬戸市下水道事業会計予算	可決(全会一致)
第28号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第29号議案	令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第30号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第14号)	可決(全会一致)
同意第1号	瀬戸市固定資産評価員の選任について	同意(全会一致)

■ 請願

議案番号	件 名	採決結果
請願第1号	ごみ袋値上げ(ごみ処理費用有料化)を中止し、資源物の収集方法の改善を求める請願	不採択(賛成少数)

各議員の議案に対する賛否の状況

議案番号	議員名	自民新政クラブ											公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派		
		朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	臼井淳	藤井篤保
第2号議案		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号議案		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
第22号議案		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号議案		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号議案		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号議案		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号		×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。なお、水野良一議員は議長職のため採決には加わりません。

どこが変わるの？ 私たちの暮らし

今回の3月定例会で、特に市民生活に大きな影響のあることについてお知らせします。

国保加入者の出産育児一時金が 増額されます!

少子化対策として、「出産育児一時金」が引き上げられます。

令和5年4月1日から
42万円→50万円へ増額



安全で安心な放課後児童クラブへ

児童クラブごとに児童の安全確保と災害時の対応のために「安全計画」と「業務継続計画」の策定、周知、訓練等の実施をすることと、送迎等車での移動の際に、子どもの所在を確実に把握できる方法で確認することを定めることになりました。



Check! 市長に提言書を提出しました

プラスチック製容器包装をはじめとした資源物の分別回収方法について

議長から市長に▶



- 1 プラスチック製容器包装の回収回数を増やすこと。
- 2 利便性の向上に繋がるよう、各町内の集積場所の増設を図ること。
- 3 市域の広さを勘案し、資源回収の拠点の充実を図ること。

◆ 詳しい内容についてはHPをご覧ください。

インクルーシブパーク整備の実現に向けて

都市活力委員長から市長に▶



今後、都市公園整備を行う際は、障害の有無等に関わらず誰もが利用できるという観点が必要であることから、インクルーシブパークの導入について具体的検討を行い、魅力的な都市公園の整備に繋げていくこと。

※インクルーシブパークとは障害の有無等に関わらず誰もが利用できる公園のこと。



柴田 利勝
自民
新政クラブ



本市における虐待の現状と、今後の取組みについて

Q 児童虐待や高齢者虐待による不幸な事件が後を絶たない。この課題への本市の対応は、防止策や当事者の保護、虐待を成す側への支援といった具体的な取り組みの実行が大切である。本市の現状や取り組みを確認し、誰にでも優しいまちづくりへの契機となる事を期待して質問する。

A 虐待対応は、早期の発見・介入に加え、児童や高齢者が虐待被害者に、その家族や関係者が虐待加害者にならないようにする事が非常に重要と捉えている。本市としてはNPO法人や地域の協力を得ながら、虐待が起きないまちづくりに努める。 (こども未来課)



高桑 茂樹
無党派



個別避難計画について

Q 令和4年1月1日現在未策定で、令和5年以降の策定となっているが、進捗状況について伺う。

A 計画の進捗状況は、避難行動の支援といった類似性を持つ災害時要支援者台帳との関連や支援者が必要とする項目の抽出など関係部局、関係機関と協議を行い、具体的に対象者を選出したモデルケースを作成する段階にある。発災時、実際に支援する方や福祉サービスなどの関係先との情報共有が欠かせず、福祉の側面での取組が重要となり、モデルケースで得た事例を参考に、有用な支援計画となるよう進めたい。 (危機管理課)



原田 学
日本共産党
瀬戸市議団



誰もが安心して利用できるような介護保険制度の充実を

Q 低所得者(第1～第3段階)の介護サービス利用料の減免制度は、介護保険条例施行規則の中で3種類の減免がある。①災害、②主な生計者の死亡、③収入の減少などである。市はこれまで①の減免しか考えていないが②や③の場合についても他の市町村では実施されており、市も積極的に対応すべきである。市の姿勢は介護の社会化に逆行しているのではないかと伺う。

A 介護サービス利用料の減免については、災害のほか特別な事情として、介護保険条例施行規則に規定されているものに対し実施している。 (高齢者福祉課)



白井 淳
無党派



瀬戸市が発注する工事入札に問題はないのか

Q 令和3年・4年度の最低制限価格と同一金額の入札が数多くあるが、入札の情報漏洩や談合行為の疑いがあると考えないのか。また、3工事の入札について、工事費数千万円の入札金額と同一金額で、複数業者が入札するなど違和感を覚えるが、なぜこのような結果になったのか伺う。

A 最低制限価格の算定式は、ホームページ等で広く公表しているため、入札参加者が個々適正に積算した結果、最低制限価格と同額で入札を行うことは十分可能であり、同一金額の入札案件が数多く生じていることをもって工事入札の情報漏洩や談合行為があった疑いがあるとは考えていない。 (行政課)



教育にかかる経済的負担を軽減し子どもを生き育てやすい瀬戸市に



新井 亜由美
日本共産党
瀬戸市議団



Q 市議団実施の市民アンケートで子育て施策の要望として1位だったのが、学校給食の無償化であった。教育委員会の試算で、第3子以降の学校給食無償化は年間約5,500万円、第1子からの完全無償化は年間約4億8千万円(自治体の予算規模の約1%)で実現できると聞いている。子育て家庭の切実な要望に応え、学校給食無償化を実施すべきと考えるが見解を伺う。

A 学校給食費の無償化には多額の財源が必要となり、費用対効果や他の施策との優先順位も見定めながら、子ども子育て支援策全体を考える中で総合的な見地から判断すべきと考える。(学校教育課)

認証アーキビストの導入について



三木 雪美
自民
新政クラブ



Q アーキビストとは「組織において作成される膨大な記録の中から、世代を超えて永続的な価値を有する記録を評価選別し、将来にわたっての利用を保証するという極めて重要な専門職」で、この職務に精通し専門的であると認められる人を国立公文書館長が認証し、これを「認証アーキビスト」と称する。今後、公的機関においては導入が必須となるのではとされているが、市の考えを伺う。

A 後世に伝えるべき重要な記録を保存することは重要と認識しており、国・県の動向を注視しながら、先進自治体などの事例研究などを行っていく。(行政課)

地域猫活動等への支援事業について



池田 信子
公明党
瀬戸市議団



Q 動物愛護に関する施策を推進し実質的殺処分ゼロの取組み「人と動物が共生できるまちづくり」の実現を目指したい。飼い主のいない猫に対する去勢・避妊手術費の費用助成支援事業等を目的にクラウドファンディング等の活用と動物愛護基金の創設を提案したいが見解を伺う。

A 人と動物が共生できるまちづくりの実現に向けては、地域住民の理解と協力のもとに地域が一丸となって取組むことが不可欠である。公益財団法人どうぶつ基金の不妊手術事業をはじめとした活動団体を支援する制度等、地域猫活動を支援するための手法の検討を進めていく。(環境課)

4年間に行った一般質問後の進捗状況と今後の方針について



松原 大介
無党派



Q 令和3年12月定例会での一般質問の【これからの公園について】のなかで、磁祖公園については整備計画の見直しを行うとの答弁であった。用地取得することからも、見直しを早期に実施し、計画を着実に前進させてはどうか伺う。

A 整備手法のひとつである、パークPFIについて民間事業者にサウンディング調査を行った結果、周辺インフラ整備が進んでいないことが指摘された。今後は指摘された課題を強く認識し、公園機能が十分発揮できるよう、インフラ整備を始めとした周辺まちづくりを考慮し、整備計画を見直していく。(建設課)

家族介護者支援



無党派
馬嶋みゆき



Q 地域との繋がりを持たない方や仕事をしている家族介護者の中にはSOSを発信せず一人で抱え込むケースもある。地域包括支援センターの存在や支援センターの窓口では要介護者だけでなく、介護生活により起こる介護者の生活不安や就労の悩みも相談可能なことを知って頂くため、スーパーや駅など日常生活の場で広く周知する事が必要と考えるが見解を伺う。

A 地域の相談窓口である地域包括支援センターの周知をこれまで広報せとや各種送付物を通じて行ってきた。今後は働く世代を始めとする幅広い世代に広く周知する事が必要と考え、方法を検討したい。(高齢者福祉課)

瀬戸市国民保護計画について



公明党
瀬戸市議団
三宅聡



Q 絶対に避けなければならないことである、万が一の有事の際、市民をどのように守っていくのか、それが国民保護計画である。内容はほぼ国・県からの指示となっているが令和2年2月以降見直しもなく、過去8年間国民保護協議会すら開かれてない現状である。最近の世界状況を鑑み、年に1回は協議会を開催し基本的なことだけでも確認し合うことが必要と考えるが見解を伺う。

A 国民保護法第39条第2項第1号の規定により国の国民保護に関する基本指針の変更など重要な局面において、協議会を開催するものと認識している。(危機管理課)



議会だよりの表紙の絵を提供していただいた 瀬戸西高等学校を紹介します



本校は、あいちスーパーイングリッシュハブスクールの指定を受け、ALT(外国語指導助手)の常駐、小学校への出前授業など先進的英語教育を実践しています。また、総合的な探究の時間では、ゼミ形式で課題解決型学習に取り組み、愛知県立大学の学生をファシリテーターに迎えるなど、主体的な学びの育成を図っています。

さらに、「ようこそ先輩」と銘打って、各界で活躍されている本校卒業生による講演会を開催し、キャリア教育の一環としています。



探Q (総合的な探究の時間)



英語部の活動





委員会活動レポート



都市活力委員会

調査研究テーマ▶「地域公共交通」

滋賀県東近江市及び、米原市を視察しました。東近江市では交通弱者の移動手段を確保するため「ひとにやさしいバス交通とにぎわいの創出をめざして」を基本理念とした「ちょこっとバス・ちょこっとタクシー」を、米原市では、コミュニティバスの赤字額増加や、公共交通空白地域の解消のために運行されているデマンド方式「まいちゃん号(事前予約制の乗合タクシー)」などについての調査を行いました。



厚生文教委員会

調査研究テーマ▶「ユニバーサル就労・保育士支援」

富士市及び平塚市を視察しました。

働きたくても働くことのできない状態にある全ての人が自ら選択した仕事に就けるよう支援するため、様々な取り組みを行っていました。また、保育士支援事業については保育士不足を解消し、子育てしやすいまちを目指し、就職促進貸付制度などの事業で保育士支援を行っていました。すべての事業において効果が出てきているとのことであり、本市としても研究していくべきと感じました。



議会運営委員会

調査研究テーマ▶「オンライン委員会」

愛知県知立市議会を視察しました。

議会BCP(業務継続計画)では、災害や感染症まん延などの有事の際でも議会活動の維持を図るため、タブレット端末の活用や委員会のオンライン化が必要であると考えます。オンライン委員会の必要性や技術的な問題、議決をどうするのか等の現状と課題を踏まえ、すでに運用を開始している知立市議会と、事業の効果及び現時点での課題、今後の方向性について意見を交わしました。



議会改革推進特別委員会

調査研究テーマ▶「委員会の代表質問」

議会の政策立案機能が発揮されるためには常任委員会活動の強化が不可欠であるという考えから、委員会代表質問をすでに導入している岐阜県可児市議会の事例について同市議会の川上文浩議員を招き、説明を受けました。

「市民との意見交換会」での意見を政策資源として、委員会での調査研究を経て、議会提出議案や理事者への政策提言に結びつける過程において、有効な手段であると認識し、導入の是非を含め検討していくこととなりました。



常任委員会の調査
研究報告について

3月定例会の本会議で各常任委員会等から調査研究事項について報告がありました。

報告書についてはホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



テレビ番組



グリーンシティーケーブルテレビ 「こんにちは! 瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

3月定例会の番組内容は

- ①議長・副議長一年を振り返って
 - ②常任委員会等の活動報告について
 - ③3月定例会の結果報告
- お送りしました。

6月定例会放送予定 7月24日(月)～7月30日(日)

放送時間

7:10～、9:10～、12:10～
18:10～、20:10～、22:10～

※放送時間が変更となる場合があります。詳しくはグリーンシティーケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



ラジオ番組



RADIO SANQ 「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では瀬戸市の未来像について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

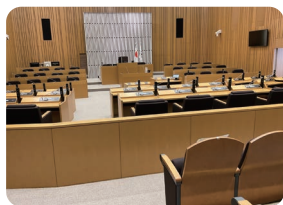
6月定例会放送予定 6月6日(火)、7月11日(火)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～

RADIO SANQホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。

インターネット中継



会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



5月臨時会開催予定

- 5月12日(金) 本会議
- 5月15日(月) 本会議
- 5月22日(月) 総務生活委員会・厚生文教委員会
- 5月23日(火) 都市活力委員会

※いずれも、午前10時(5月22日厚生文教委員会は午後1時)からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。

※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

(5月22日総務生活委員会・厚生文教委員会および5月23日都市活力委員会については議案審査がないため、中継はありません。)

※6月定例会の日程は、5月中旬頃にホームページに掲載する予定です。

編集後記

- 改選期を迎え、我々編集担当での議会だよりの編集作業もこの3月定例会号でひと区切りとなります。表紙の写真や掲載内容に市民の皆さんとの接点を持つことなど議会について少しでも親しみを感じていただけるように心がけてまいりました。
- 議会の情報を発信するには、様々な手法があると思いますが、これからもさらに充実した議会だよりにするべく、つねに「これでよいのか」と心に問いかけていきたいと思えます。



議会だよりの編集作業部会一同

ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先/議会事務局 議事課 ☎88・2740
E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行/瀬戸市議会 〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも議会だよりをcheck!



Catalog Pocket マチイロ